

国際協力プログラム「WHO-NIPH生活習慣病対策ワークショップ」

WHO-NIPH「Regional Workshop on Strengthening Leadership and Advocacy for the Prevention and Control of Noncommunicable Diseases (LeAd-NCD) 2017」

(2017年9月12日-15日)

1. 本研修の目的

WHO西太平洋地域事務局(WPRO)管内のアジア・大洋州地域の途上国では、生活習慣病の有病者の増加が大きな健康課題となっている。これらの国々にて生活習慣病対策を推進する保健省の担当者が一同に会し、その能力強化を図るためのワークショップを行うとともに、わが国での生活習慣病対策についての取組や知見を発信することにより、アジア・大洋州地域の生活習慣病対策の推進に資する人材育成を行うのが本ワークショップの目的である。



【開講式 本院：講堂】

2. 開催概要

WPRO管内途上国の保健省の生活習慣病対策担当者の能力強化を目指す”Regional Workshop on Strengthening Leadership and Advocacy for the Prevention and Control of Noncommunicable Diseases (LeAd-NCD)”は、本年度で5回目の開催となる。本年度は「身体活動」を重点テーマとし、講義、グループワーク、わが国での健康体操の地域住民への普及活動の視察等のプログラムを行った。身体活動の向上に向けたWHOの方向性についての説明とともに、参加者各国での関連施策について情報共有を図り、生活習慣病対策には必須の条件である身体活動の向上を図るための具体的な改善策についてのグループ討論が活発に行われた。わが国の「健康づくりのための身体活動指針」についても、プログラム初日に説明が行われ、エビデンスに基づく取り組みの有効性について発信した。

現地視察では東京都西東京市にうかがい、地域住民のために西東京市が開発した健康体操「しゅきしゅき体操」の体験と、その普及活動に大きな役割を果たした地域ボランティアの方々との意見交換を行った。終始、なごやかな雰囲気の中での体験型の視察となり、実り多いプログラムとなった。

なお、これまでの一連のNCDワークショップでの活動内容については、WPROの公式ホームページに報告書が掲載されているので、別途ご参照いただきたい。

参照URL：http://www.wpro.who.int/noncommunicable_diseases/en/



【視察：西東京市役所 保谷保健福祉総合センター】

3. 対象国

本年度はブルネイ、カンボジア、中国、フィジー、ラオス、マレーシア、モンゴル、フィリピン、シンガポール、ベトナムなどをはじめとアジア・大洋州地域の21か国からの参加であった。本年度のテーマを踏まえ、保健省の生活習慣病対策担当者もしくは教育省のスポーツ担当者が各国1～2名ずつ参加し、合計の参加者数は29名となった。ひとつのテーマに向かって、異なる国々と部門の担当者がグループワークを行うことにより、生活習慣病対策の推進に必要な部局横断的アプローチを習得する研修内容となった。



【講義風景 本院：3－1及び2講義室】